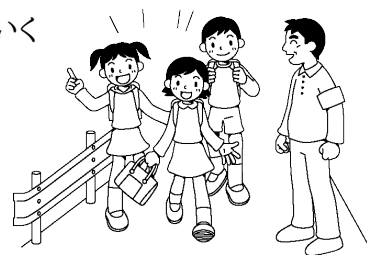


## 《児童支援専任より ☆子どもの安全を守るポイント 編☆》

毎日の子どもたちの登下校の様子を見ていて、気になることがありました。それは、交通事故。そこで、少し調べてみました。これらのクイズは、神奈川県警ホームページにある「かながわの交通事故(令和2年統計)・神奈川県警察本部交通部交通総務課」を基に作成しました。調べていくと子どもたちの安全を守るポイントがいくつも示されていることに気がきました。その代表的なことをクイズにしています。



### 突然ですが！子どもの安全を守るための3択クイズ！

第1問 : 小学生の子どもは、どのようなときに事故にあうことが多いでしょうか。

- ① 自動車に乗っているとき ② 自転車に乗っているとき ③ 歩いているとき

第2問 : 歩いている子ども(幼稚園児・保育園児・小学生・中学生)が交通事故にあう原因で、一番多い違反はなんでしょうか。

- ① 信号無視 ② とびだし ③ 横断歩道を通らない横断

第3問 : 小学生の子どもは、家からどのくらいの距離で一番多く事故にあっているでしょうか。

- ① 1000m以上 ② 50m以下 ③ 100m~500mの間

### さらに突然ですが！クイズの答えと解説です！



★1問目の答え ③ : 答えは、③歩いているときですが、②自転車に乗っているときもほぼ同じくらい多いことが統計から分かりました。登下校は、やはり気を付けても気を付けすぎることはないということですね。

★2問目の答え ② : 歩いているときに交通事故にあう子ども(幼稚園児・保育園児・小学生・中学生)の約半分は、何かの交通違反をおかして事故になっています。その交通違反の中で「とびだし」が約35%。登下校中もよく見かける光景で、毎日注意喚起をおこなっているところです。

★3問目の答え ③ : 答えは、100m~500mの間ですが、自宅から 500m以内の近所で事故にあっている割合が、約65%であることが統計から分かりました。保護者にとっても子どもにとっても、いつもの場所・見慣れた道である範囲内で交通事故が起こっているということになります。

今回のクイズを通して、未然に子どもたちの交通事故を防ぐ大切なポイントがありました。統計が教えてくれることをポイントに、毎日の登下校や放課後の活動について話題にして、保護者や子どもたちに何かの気付きが生まれてくれたら嬉しいなと思っています。

